

300W モノラルパワーアンプ

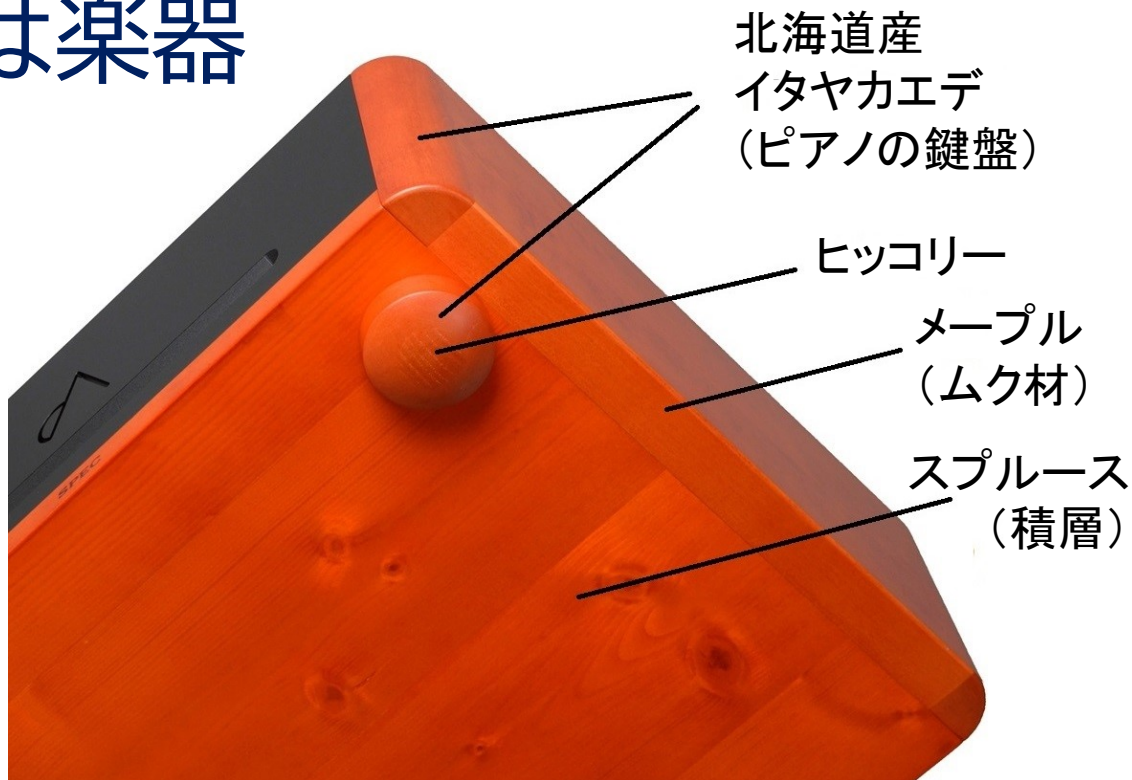
SPEC
SPEC CORPORATION

RPA-MG1 「音楽」を感じたい人へ

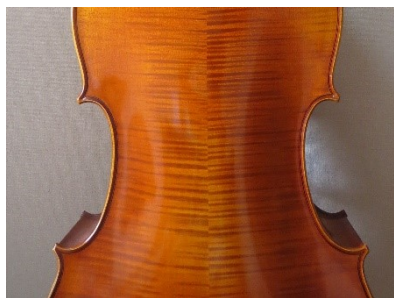


アンプは楽器

アンプと一体となった「スプリース」と「メープル」のウッドパネルが豊かで自然な響きを再現します。



スプリースとメープルは、バイオリンの表板と裏板に使われている素材で、音楽信号とともに振動し、美しい音色を奏でます。



メープル

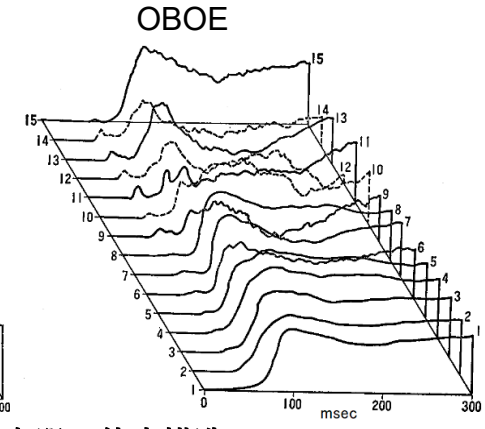
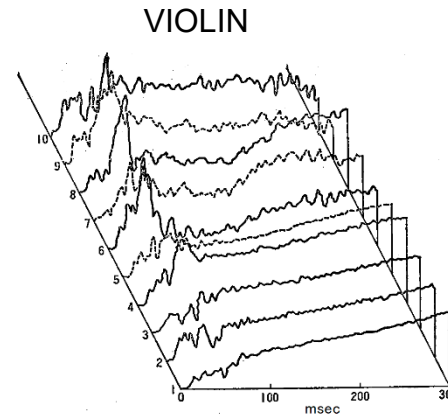


スプリース

SPECの「音楽的な表現」とは

①音色 ～音色再現が、音楽性の基本～

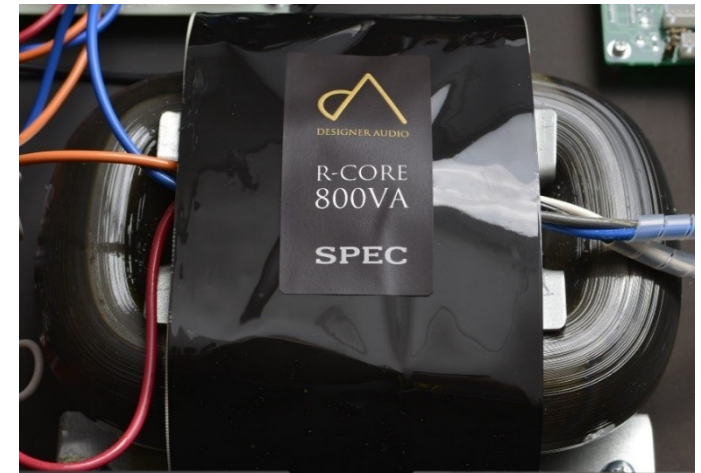
バイオリンはバイオリンらしく、柔らかく繊細に、
オーボエはオーボエらしく深い音色、
そしてトランペットの輝く質感を。
音色表現の主役は複雑な倍音を
構成する微小信号。MG1は個々の
楽器の音色を大切に再現します。



楽器の倍音構造

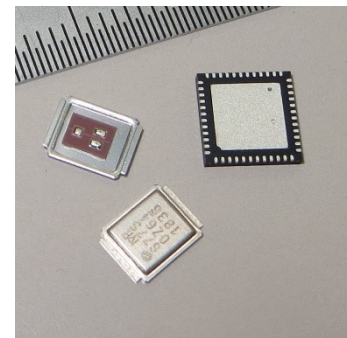
②音圧 ～瞬発のエネルギー～

バスドラの押し出し感、
金管楽器のエネルギー感、
ピチカートの躍動、そして、
ボーカルの圧力を表現するために、
エネルギーの源は超余裕、800VAの
Rコアトランス。

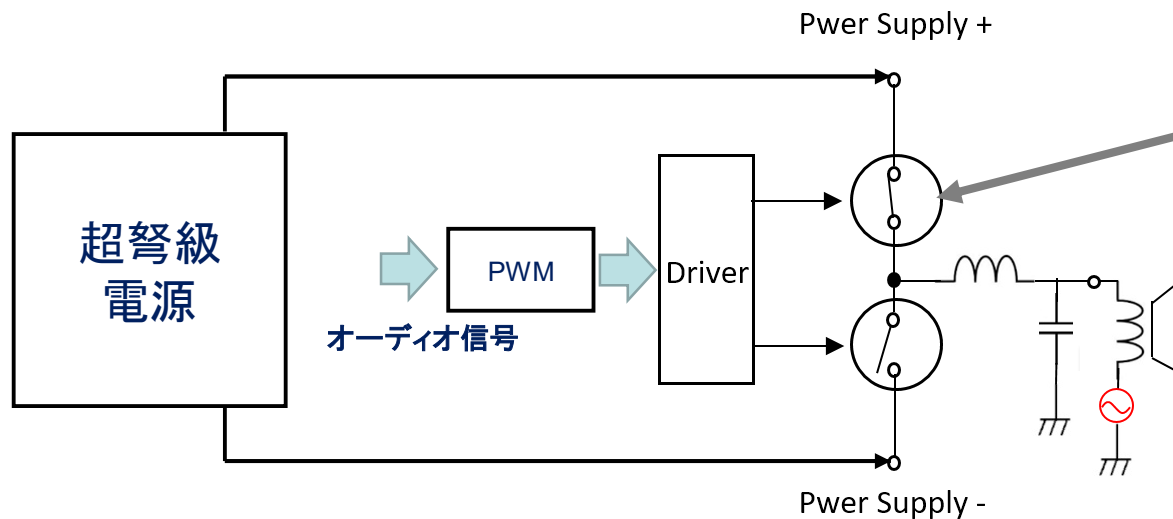


「音楽的表現」のためのDクラス

- ・音楽は変化の芸術。生演奏の音色と瞬発の音圧を表現するためには、瞬時の変化にスピーカを追従させ、そして止める、駆動力と動特性が必要。
- ・Dクラスは原理的に、駆動力と動特性に優れた「方式」であり、変化し続ける微小信号と大音量インパクト再現のために必須。
- ・MG1は、音楽表現力に優れたDクラスFETを新規採用。FETはスイッチとして動作するため、超弩級電源のエネルギーを遅れなくダイレクトにスピーカーに供給します。



DクラスFET



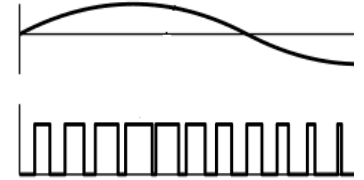
DクラスFET

スイッチとして動作するのでエネルギー供給がダイレクトで双方向。逆起電力にも有利。だから、駆動力と動特性に優れます。

スイッチとして動作し、熱が出ないので、密閉構造。

MG1は“アナログアンプ”

PWMはアナログ回路。レベル情報をFETのオン時間にアナログ変換するので、PWM方式のDクラスアンプは、アナログアンプという事が出来ます。アナログだから微小信号をありのままに伝えます。



音色選択

- 1 MG1の基本の音で生の音に近い音色 Neutral
- 2 心地よく洗練された音色 Sophisticated

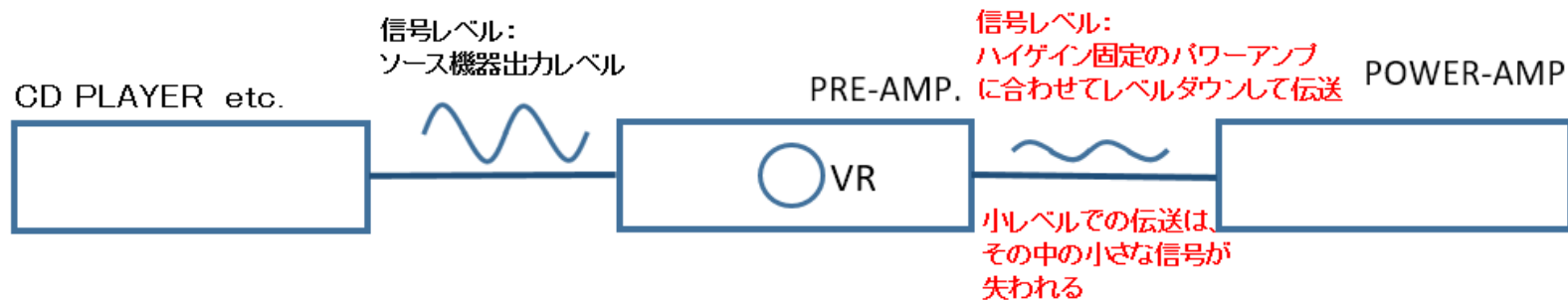
この選択は従来のトーンコントロールと方式が異なります。周波数特性は変わりません。Dクラスの直後のポイントで、個々の部品がもつ共振特性を切り替えているのです。



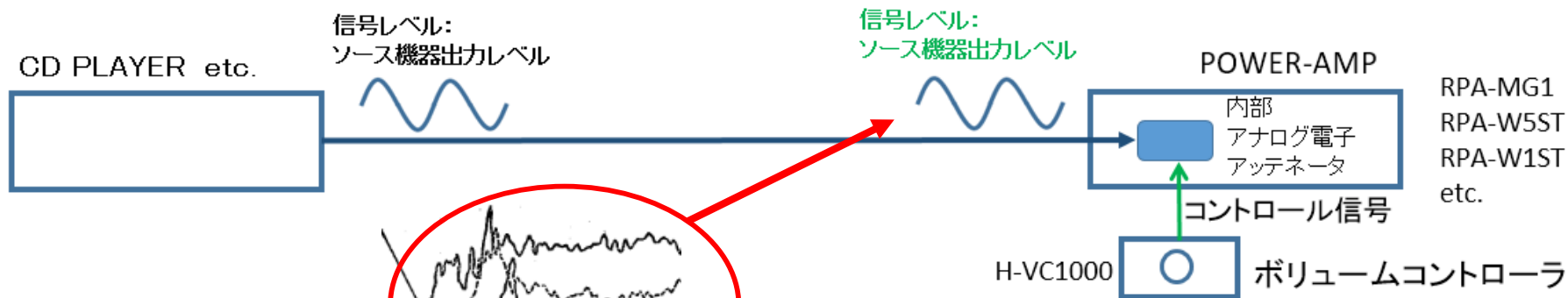
プリとパワーの新しいコンセプト ピュア・ダイレクト・システム

～音色再現の主役、微小信号をキープ～

<今までの一般的な接続>



<ピュア・ダイレクト接続>



信号レベルを絞らずに
パワーアンプに渡したほうが
音色を表現する微小信号が
維持される。

